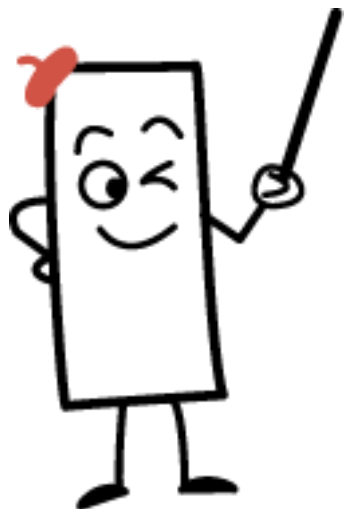


# 研修事例紹介

## -オンライン研修の事例と成果-



株式会社アイテック  
法人営業部 部長  
町 大輔



# お話しすること



オンライン研修事例と成果

本日体験していただく研修について

# お話しすること



オンライン研修事例と成果

本日体験していただく研修について

# 申込時のアンケート

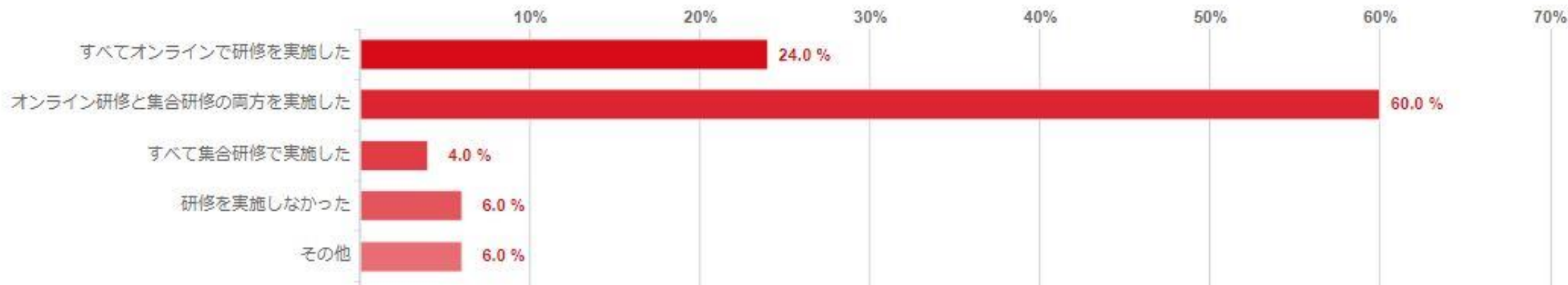
## 4～10月 オンライン研修実施率

これまでの貴社の研修実施についてお教えてください。

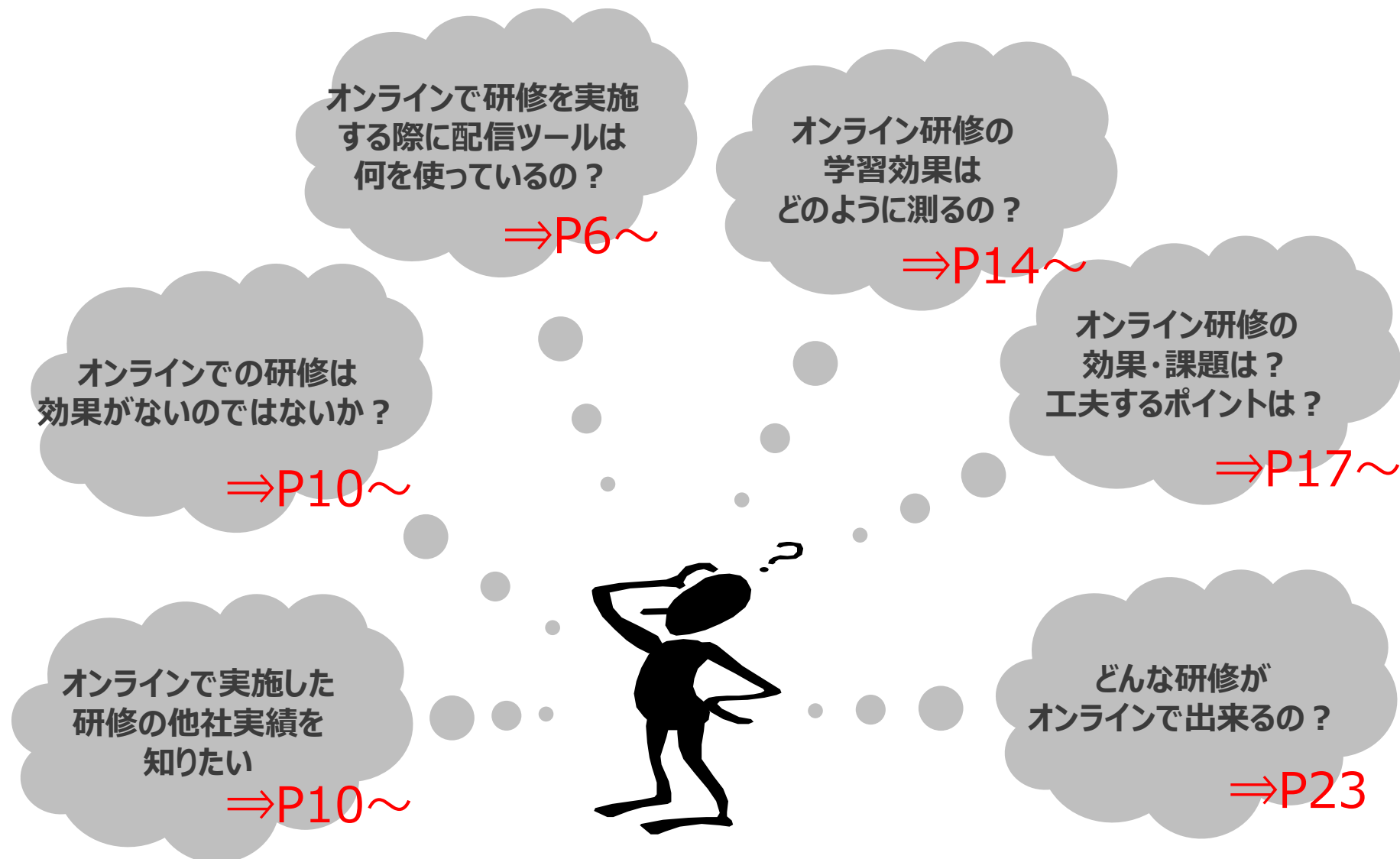
2020年4月～10月までオンラインでの研修を実施されましたか？

(回答数: 50)

ここにコメントが入力できます。



# 人事様、人材開発様からいただいたご相談内容



オンラインで研修する場合の  
配信ツールは何を使っているの？

セキュリティ面は安全なの？

# 大多数の新人研修が急遽リモート研修に変更

4月～現在 合計 207案件 内33案件は会場実施

The Zoom logo is displayed in a bold, blue, lowercase sans-serif font.

使用率 約90%

The Cisco Webex logo features the word "Cisco" in a blue sans-serif font above the word "Webex" in a larger, blue, lowercase sans-serif font.

使用率 約5%

The Skype logo consists of a blue speech mark icon containing a white letter 'S', followed by the word "Skype" in a blue, lowercase sans-serif font.

使用率 約3%

The Google logo is displayed in its multi-colored, lowercase sans-serif font.

使用率 約2%

# 弊社は多くの研修で **zoom** を使用

## 講師と受講生の同時接続による講座進行

【一般的な内容】

- ①適宜画面共有をしながらの講義
- ②ホワイトボード（講師によりデジタル／アナログ）を使用しての説明
- ③**ブレイクアウトセッション**（グループ分け）での演習

### └ 【ブレイクアウトセッション】

- ・自由にグループ分けできるZoomの機能
- ・自動または手動でホストがグループ分け
- ・各グループは作成された仮想空間でMTG可能
- ・各グループ内で画面共有可
- ・講師や関係者が各グループに入り、ファシリテートや見学することができる



ZoomHPより



# セキュリティについて

Zoom使用の**セキュリティ対策**として、以下の2点を実施

## ①パスワードの設定

MTGに参加する際、**パスワードを必須**設定にいたします

※MTG作成時に設定可能

## ②最新バージョンの使用

Zoom側でも日々対策を進めていることから、常に最新バージョンにて講座実施をいたします。

【Zoom5.3.2】 2020/10/16現在

オンラインでの研修では  
効果が得られないのではないか？

オンラインで実施した  
他社の実績が知りたい

# 2020年度の実績紹介（受講者アンケート）

※2019年度は集合、2020年度はオンラインで実施した新入社員研修の比較

受講者レベルの変化や実施時期の変更等による事情を除いて、**オンライン型でも集合型と同等レベルの満足度が得られた。**

オンライン研修は、新入社員が孤立しがちなので、講師だけでなく人事やクラスマネージャによる細かい声がけなど、「**見守っている**」体制を整えることが重要。

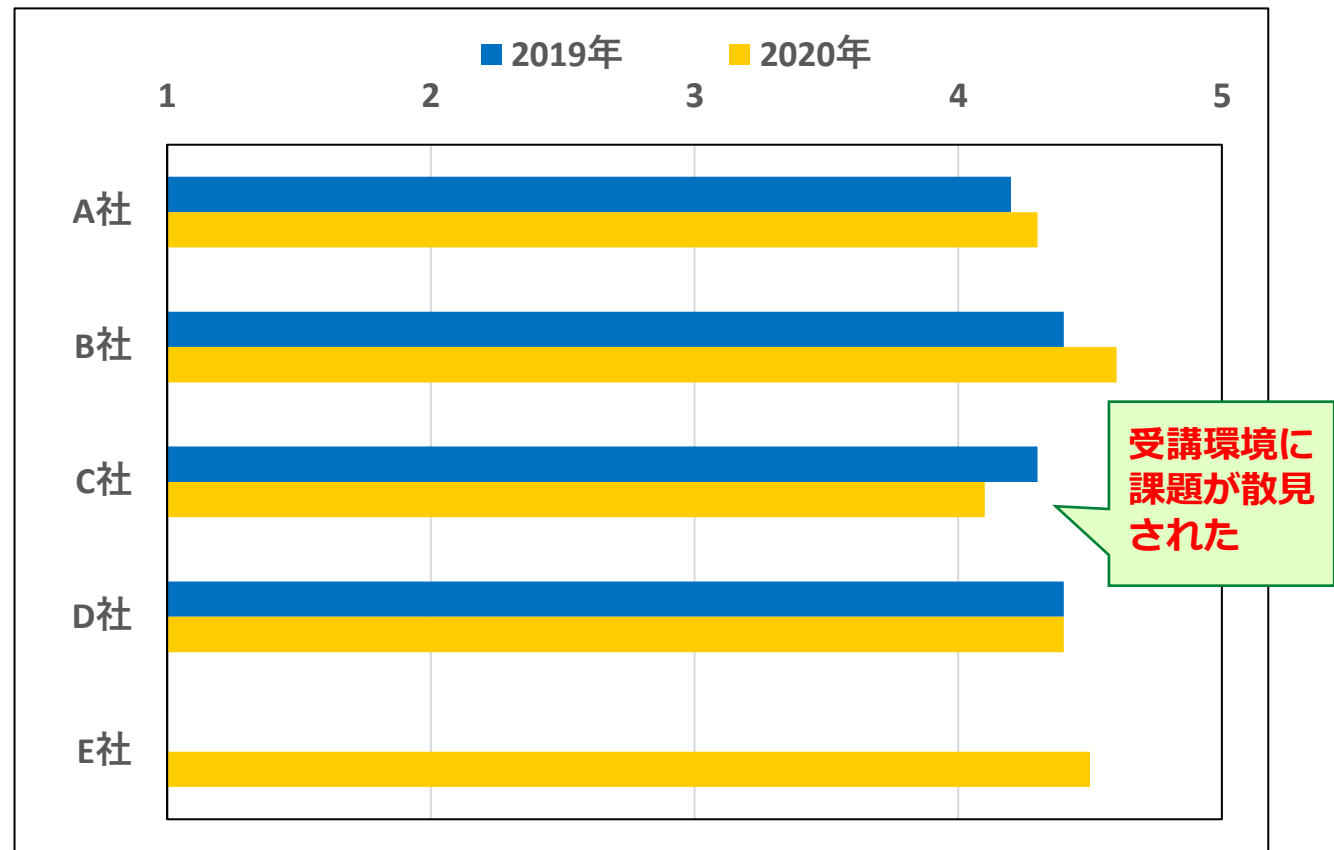
## ■ 研修満足度

	日数	2019年	2020年
A社	49日間	4.2	4.3
B社	21日間	4.4	4.6
C社	29日間	4.3	4.1
D社	20日間	4.4	4.4
E社	28日間	-	4.5

※1～5段階評価で回答

※C社は拠点からZoomで受講

※E社は2019年の実績なし

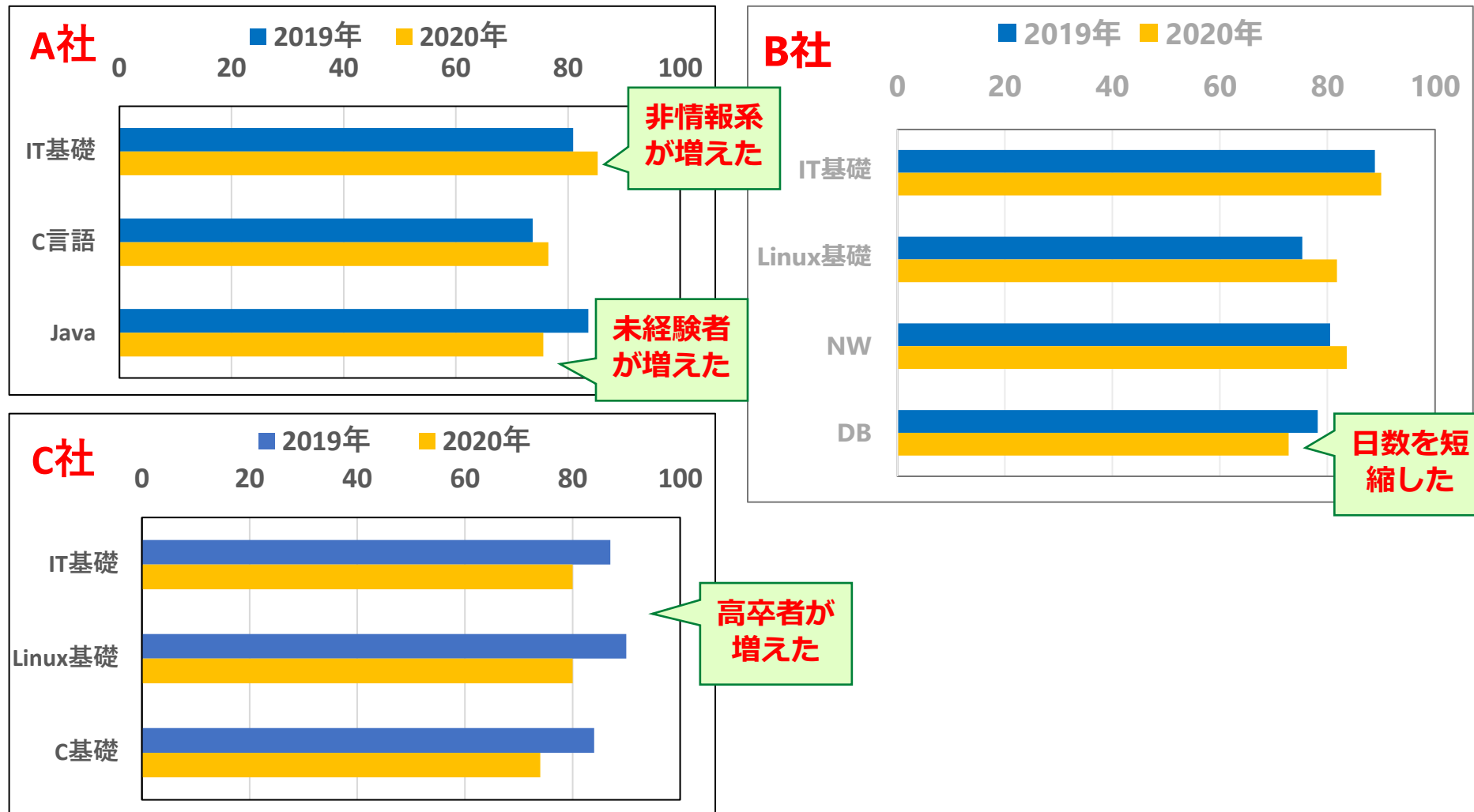


# 2020年度の実績紹介（テスト平均点）

※2019年度は集合、2020年度はオンラインで実施した新入社員研修の比較

**オンライン型でも集合型と同等レベルのテスト結果であった**

## ■テスト平均点の比較



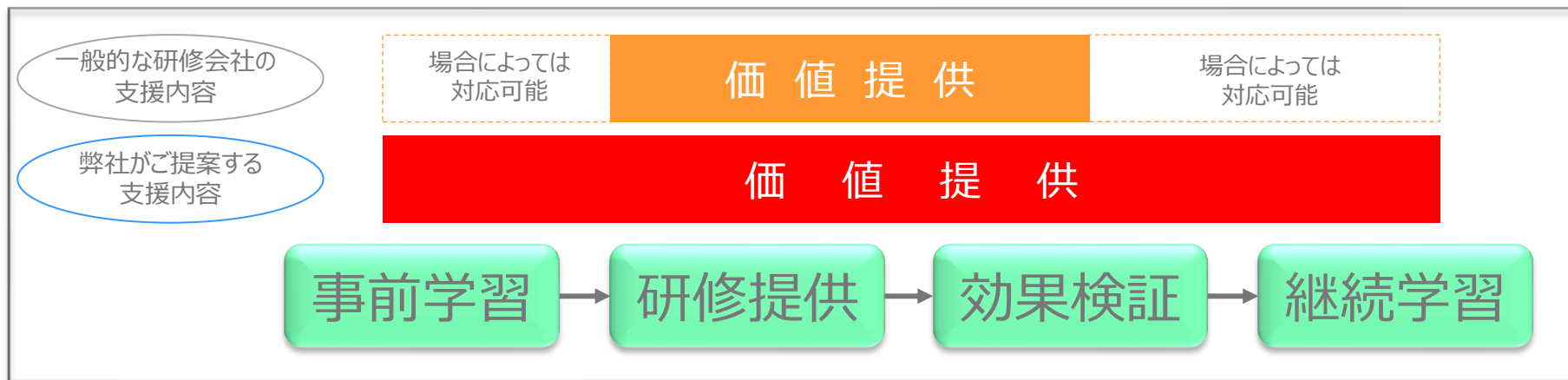
# 2020年度の実績紹介（ご担当者様の感想）

A社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入社員からの発言や質問、相談が積極的にできる運営になっていた</li> <li>・ Zoom機能を活用して言語経験者が初級者をフォローする体制を細かく組み替える方法で、初級者の習熟度を上げるだけでなく、経験者の曖昧な知識を明確にする効果が出ていた</li> <li>・ 毎朝の3分間スピーチでオンラインによるプレゼンテーション力を向上が見られた</li> <li>・ 組込ボードを用いた開発演習は各自が工夫し、お互い協力することで問題なく完成でき、オンライン研修でも集合研修と同等レベルの研修が実施できていた</li> </ul>
B社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リモート疲れを考慮して45分講義＋15分休憩を基本とし、集中できる研修になっていた</li> <li>・ 序盤は多くの受講者にリモート研修への不安や行動への遠慮が見られたが、クラスマネージャによる日々の指導や、雑談できる休憩の場を作るなどする中で、次第にコミュニケーションが活発になり主体性も見られるようになった</li> <li>・ テクニカル研修においても互いにサポートする姿が見られ、新人の理解度も集合研修の際と遜色のない結果を出すことができた</li> </ul>
C社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国の拠点複数に分かれてのリモート研修であったが、開発演習においても、集合研修と代わりない成果が出せることが分かった</li> <li>・ 拠点ごとの環境や就業スタイルの違いによる弊害が受講者の集中力に影響していたようだった</li> <li>・ 受講者レベルの差が大きかったことから、開発演習に向けてたグループ分けを早期に行い、基礎研修の演習などから良い関係性を築いた上で開発演習を実施することができた</li> <li>・ 開発演習では、全グループが追加で用意したオプション課題を全てクリアし、例年より高いレベルの納品物を作成することができた</li> </ul>
D社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社支給のiPadで講義を聴き、プログラミング演習はITEC手配のレンタルPCで実機演習を行った</li> <li>・ 新入社員はお互いにコミュニケーションも取れていない状況からの開始で、当初は暗い雰囲気もあったが、講師がブレイクアウトセッションを使って積極的にコミュニケーションをとらせる機会を作りながら実施したことで、次第に笑顔が見られるなど、様子も変化していった</li> <li>・ 研修運営上も、ほとんど障害はなく、JavaBronze試験は全員合格し、Silver試験も合格者が昨年より少なかったものの、変則的なカリキュラムの中、複数の合格者を出すことができた</li> </ul>
E社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 65名の研修を1クラスで実施した</li> <li>・ レベル差がある中で臨機応変にブレイクアウトセッションを活用した指導体制ができており、i-workoutを活用して自分のレベルに合わせた演習ができたことで、初級者も経験者も満足度が高い研修になっていた</li> <li>・ ブレイクアウトセッションで個別対応が細やかに且つ即座にできるため、例年よりも新入社員の理解度が高くなったと思われるため来年度は集合にしたとしてもオンライン研修としての運営も視野に入れて検討したい</li> </ul>

# オンライン研修の 研修効果はどのように測るの？

# ITECが提案するオンライン学習のアプローチ

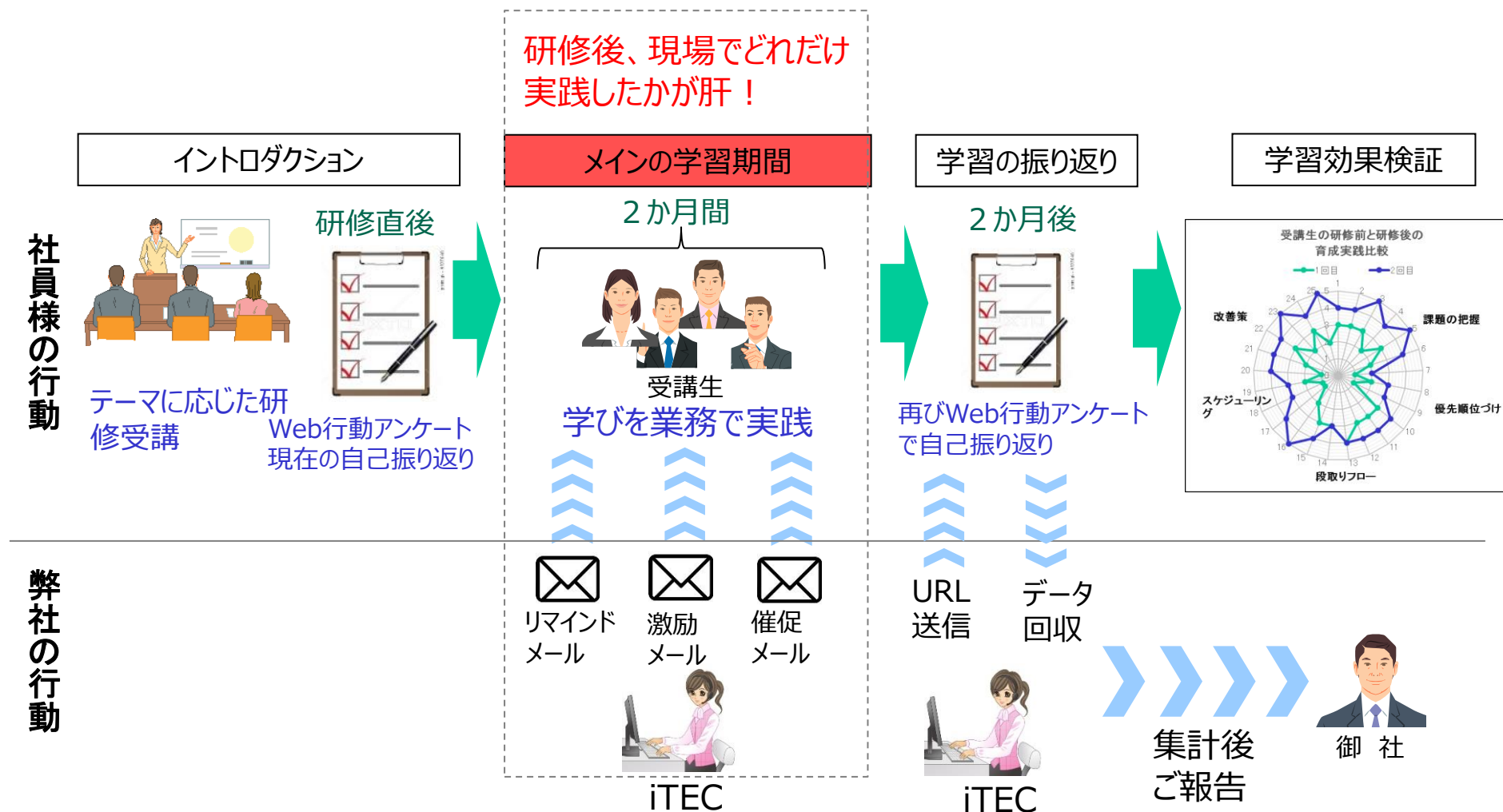
一般的な「オフラインの代替」ではなく、オンラインならではの価値を含めた研修をデザインし、継続学習のための教材も提供します



## 【上記の価値提供が可能な5つの理由】

- ① **約40年**にわたるIT人材育成サービス提供の実績
- ② 新入社員研修**ベストセラー教材と豊富な教材**（初学者から上級者まで支援可能）
- ③ オンライン研修の**提供可能な多数の講師陣**（テクニカル系とヒューマン系の両方対応）
- ④ 技術に強いアイテックの**ノウハウとサポート**（数十人のオンラインサポート対応可能要員）
- ⑤ **5000問以上**のテスト問題を保有（事前学習～クラス編成～効果検証に活用）

# 受講後の行動を見える化する「学び定着サービス」



※オプション：社員様からの質問・相談メールも承ります（但し、技術的な業務の質問は不可）  
※弊社からの受講生様への送受信が不可の場合は、ご担当者様にて配信をお願いいたします。



# オンライン研修の効果と課題 は？工夫するポイントは？

## オンライン研修実施時の「効果」

- **個別指導**がすぐできる。  
また気軽に、受講生への声かけができる。  
(かしこまった打ち合わせでなく、気軽に実施可能)
- 講師以外にも事務局から**手厚いフォロー**が行える。
- 課題が出た際は、すぐに関係者で共有・対応ができる。
- 画面共有しながら、デバックしたり問題点の解消ができる。  
また**複数メンバーでの画面共有、皆で解決**もできる。

## オンライン研修実施時の「課題」

- ネットワーク環境が個人に依存する  
画面OFFにせざるを得ないと状況が見えない
- PC環境のトラブル対応に時間がかかる
- 受講者間、講師とのコミュニケーションに偏りが出る  
(リアルでも同様の課題はありますが・・・)
- マナー、挨拶、見栄えなど、細かな指導ができない

## オンライン研修実施時の「課題」

- 同じタイミングで話してしまったり、音声が途切れる、映像が固まるなどが起こるので、ディスカッション時、集合教育よりも時間がかかることも
- ダウンロードをする際など、環境依存で差が出る
- プログラミング研修の場合、1台のPCで講師の画面共有と自分のコマンドプロンプト画面を表示させる際などはやりづらさがある

# リモート研修実施時の工夫したポイント1

準備・実施開始時に出た課題 ⇒ 解決方法

- 朝一番の立ち上がりがおとなしい ⇒ 雑談タイムの実施
- 受講生同士の関りが少ない ⇒ 休憩・お昼に**個別ルーム設置**  
⇒ 3分間スピーチを実施し、受講者同士がお互いを知る  
機会を設け、コミュニケーションを取りやすい環境を作る
- 神経を使うため疲れやすい  
⇒ 休憩時間はリアルで実施よりも多めにとる  
⇒ ラジオ体操を取り入れてリフレッシュ

# リモート研修実施時の工夫したポイント2

準備・実施開始時に出た課題 ⇒ 解決方法

- 自主性が課題、積極的に意見を言って欲しい  
⇒質問は極力チャットでなく発言を
- リモートにより受講生が見えない  
⇒ジェスチャーは大きめに相手に伝わるように
- リモートでもテクニカル・人間力を定量・定性評価を行ってほしい  
⇒従来の紙テストでなく**理解度確認テストをWEBで実施**し、  
合格点未満は再テストにするなど、緊張感を持たせる（次ページ参照）  
⇒オンラインストレージサービスを併用し、ミニテストはもちろん、  
課題の講師レビューやグループワークの成果物共有を行い**研修自体を一元管理**  
⇒プロのマナー講師をクラスマネージャーとして受講生に考えさせる指導を行う。  
またマナー他、動画をアップし、復習できる環境を用意し適宜フォローする

どんな研修がオンラインで  
できるの？

# オンライン対応可能なヒューマンスキル研修（例）

生産性向上から基本的なビジネス／ヒューマンスキルまで1社研修にてご提供いたします

役割／ テーマ	働き方改革・ 生産性向上	ダイバーシティ (女性、シニア)	セルフモチベーション	マネジメント力強化	ビジネススキル／ ヒューマンスキル
管理職	ロジカルライティング (指導者向け) ※会議ファシリテーション ファシリテーター養成 タイムマネジメント	女性活躍推進 (管理職向け／一般社員) 女性リーダーのための マネジメント研修 グローバルビジネスコミュニケーション	レジリエンス	SEのためのチームマネジメント マネジメント入門 リーダーシップ開発	問題解決・ロジカル シンキング エンゲージメント研修 (Thank you 研修) ハラスメント関連
リーダー・ 中堅・ シニア		シニア社員向け キャリアデザイン、 後進育成			コミュニケーション、プレゼン テーション 営業力・提案力強化
若手・ 新入社員	ロジカルライティング		若手向け 「人生100 年時代」の 働き方研修 ／ キャリアデ ザイン研修		

※個別のメニュー詳細につきましては別紙「ITECお勧めヒューマン研修」にてご案内いたします



# お話しすること



オンライン研修事例と成果

本日体験していただく研修について

## ◆実施背景

1. オンライン研修の中でも、比較的難しいのが、「チームビルディング」の運用である
2. 働く環境がテレワーク化しているので、オンラインを通しての意思疎通が増える
3. VUCA時代に突入し、TOPや上司からの方向性の指示を待つような、従来のマインドのままでいいのかを考えたい

## ◆実施概要

1. テレワーク環境で、あらゆるビジネスが大きく変革し、  
チームビルドに必要な全体像、ゴール、方向性などが明確に見えない設計にあえてしている
2. 参加者に、今までとは違うコミュニケーションをする疑似体験をしてもらう

## ◆効果

1. 実際のオンライン環境で、自分の出来ることや、どうしたらチームが活性化するのかを疑似体験で深く内省できる
2. 2回目のワークで、環境に左右されずに主体的に行動することで得られる達成感を味わえ、現場で活かせる
3. 無意識に行動を制限する自分の心の仕組みを知り、自分の壁を乗り越えるためのきっかけとなる

## ◆定員

1クラス最大20名まで